

第68回 中越地区中学校卓球大会 兼 第49回 新潟県中学校総合体育大会卓球競技予選会 要項

1. 主催 新潟県中学校体育連盟 中越地区中学校体育連盟
2. 主管 長岡市中学校体育連盟
3. 後援 長岡市教育委員会 長岡市卓球協会 新潟日報社
4. 期日 平成30年7月4日(水)・5日(木)
5. 会場 長岡市市民体育館
6. 競技種目 男子団体戦・個人戦 女子団体戦・個人戦
7. 参加資格 中越地区の中学校に在学する生徒で、各都市大会で選抜され出場資格を得た者で、当該の中学校長が認めた者
8. 出場制限 団体戦男子24チーム・女子18チーム、個人戦男女各52名

	長岡市 三島郡	三 条	加 茂 田 上	見 附	小千谷	魚沼市	南魚沼 郡 市	十日町 中 魚
団 体	男 8	男 4	男 2	男 2	男 2	男 1	男 2	男 3
	女 8	女 3		女 1	女 3	女 2		女 1
個 人	男 16	男 10	男 5	男 4	男 5	男 3	男 4	男 5
	女 24	女 10		女 2	女 8	女 3		女 5

9. 競技日程

7:40 8:00 30 8:55 9:05 10 35 40 12:50 16:40

第一 日 目	受 付	代表者 打ち合わせ	役員着席	開 会 式	団体戦 男子は2回戦迄 女子は予選リーグ	個人戦 決勝迄
	公式練習	会場整理・選手集合				

7:40 8:00 30 9:00 9:10 15:00 15:30

第二 日 目	受 付	代表者 打ち合わせ	団体戦 (男子) 3回戦・決勝リーグ・順位決定リーグ (女子) 順位決定準備リーグ・順位決定戦	閉会式
	公式練習	会場整理		

10. 競技方法

【1】団体戦

ア. チーム編成は監督1名、コーチ1名(当該校教員または校長が承認した外部指導者)、マネージャー1名(当該校教員か生徒)、選手10名の計13名以内とする。

イ. 男子については、予選はトーナメント、決勝は上位4チームによる決勝リーグ及び第5シード決定のための順位リーグを行う。

ウ. 女子については、予選は3校×6ブロックのリーグ戦を行い、各リーグ1位のチームを3校ずつに振り分けたリーグ戦を行った後、それぞれのリーグの1位同士・2位同士・3位同士による順位決定戦を行う。

エ. 4単1複、3番にダブルスをおく。ただし、同一選手が同一試合でシングルスとダブルスを兼ねることはできない。

オ. 11点5ゲームスマッチ、1回戦から3点先取とする。

カ. 全校在籍生徒数(男女別)が4、5名でも参加できるが、オーダーは次のようにし、該当校の監督は代表者会で申し出る。 ※5名の場合…2、3、4、5番 ※4名の場合…3、4、5番

【2】個人戦

ア. トーナメント方式とし、シード順位決定のための3位決定戦及びベスト20決定戦を行う。

イ. 11点5ゲームスマッチとする。

ウ. 個人戦のアドバイザーは1名とし、試合途中で交代することはできない。アドバイザーは校長が承認し、事前に登録された者とする。また、選手が複数出場する場合は、その数まで登録することができる。

11. 組合せ 団体戦・個人戦ともに、中越地区卓球専門部会で組合せを決定する。

12. 表彰 (1)団体戦 男女各3位まで (3位2校)
(2)個人戦 男女各ベスト8まで(5位4名)

13. 申込 郡市専門部員より送付された所定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日厳守で申し込むこと

【1】申込書類 ①参加申込書(出場認知) ②外部指導者承認書(必要な場合のみ)

【2】届け出先 各郡市専門部長

【3】切 平成30年6月12日(火) 必着

※郡市専門部長は郡市大会終了後、直ちに大会結果及び参加選手名簿をメールで専門部長に送信すること。

【4】参加料 登録選手人数×500円を、6月12日(火)までに各郡市専門部長へ届けること。

【5】その他 参加選手名簿の書式、大会前の組合せ・連絡事項等及び大会後の公式記録は、地区専門部長→郡市専門部員→参加校顧問の流れで配信する。

14. 県総体出場権 団体戦男女各5位まで。個人戦男女各ベスト20まで。

申込は中越大会終了後、直ちに行うこと。

提出書類・参加申込書・参加料納付書・参加料選手1人900円

・宿泊申込書(必要であれば)・指導者承認書(必要であれば)

15. 大会規定

【1】ルールは現行の日本卓球ルールと、本大会要項による。ただし、促進ルールは適用しない。

【2】**使用球はJTTA公認のホワイト40mmプラスチックボールとする。メーカーはニッタクとする**

【3】サービス開始後、ボールが手のひらから離れたら、すぐにフリーアームを、ボールとネットとの間の空間の外に出さなければならない。

【4】ベンチは登録された者以外は入れない。選手はその試合が終了するまでベンチを離れてはならない。

【5】試合前後の挨拶は監督、選手とも、号令に従い同時に行い、試合後あらためて相手監督へはしない。

【6】選手は1試合のゲームとゲームの間に1分以内の休憩を取ることができる。

【7】タオルの使用は6本毎とする。

【8】選手は背面にゼッケンをつける。その際、日本卓球協会交付のゼッケンが望ましいが、右の図のようなゼッケンでもよい。

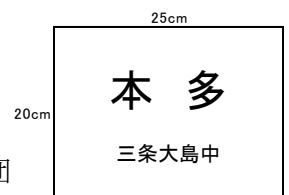
【9】登録選手の変更は原則として認めない。特別な事情があり、変更したい場合は、団体戦のみ代表者会議前に審判長に変更届を提出すること。

【10】応援は、相手に不快感を与えない程度とする。

【11】カメラのフラッシュ撮影は厳禁とする。フロアでは、許可された者以外写真撮影・ビデオ撮影はできない。

【12】開会式及び団体戦各校の第1試合のユニフォームは同一とする。また、2日目の第1試合も同一とする。ユニフォームは短パン等の内側に入れる。

【13】ラバーを貼り替える必要が生じたときは、日本卓球協会が承認した接着剤を使用し、指定された場所で貼る。



16. その他

【1】オーダー用紙は各試合毎に1部(4枚複写)を主審に提出する。

【2】進行の都合で同一試合を2台以上のコートで行うことがある。

【3】主審は、団体戦では対戦校で相互に出し、個人戦では1回戦はシード選手、2回戦以降は敗者があたる。副審はすべて補助役員生徒で行う。

【4】事前に県総体申し込み用紙に職印を押印のうえ大会に参加し、出場権を得た学校は地区大会終了時に申し込むこと。